

2012年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、年頭挨拶として、社長から全役職員に向け、メッセージをおくりました。社長メッセージのあらましは以下のとおりです。

「明治安田新発展プログラム」がスタートし、順調に進捗

- ・ 2011年の日本経済は、東日本大震災による生産・消費の落ち込みに加え、歴史的円高やタイの洪水によるサプライチェーンの混乱など大きな困難に直面した。
- ・ 当社は、震災以降、お客さまの安否確認や保険金・給付金の迅速なお支払い、ご契約に必要なお手続きに最優先で取り組むとともに、復興支援活動も積極的に行なってきた。
- ・ そのようななか、4月から「明治安田新発展プログラム」をスタートさせ、「コンプライアンスの徹底を含めたCSR経営の推進」と「お客さま満足度向上の徹底追求」を基本に、さまざまな取組みを進めてきた。
- ・ 上半期の業績は、昨年度決算に続き増収増益となり、逆ざやが20年ぶりに解消し、今年度決算においても逆ざやは解消する見込み。成長分野への取組みとしては、介護事業では介護ポータルサイト「MY介護の広場」を新設し、また、海外生命保険事業ではドイツのタラックス社との共同事業の第一弾としてポーランドの大手保険グループ・オイロパ社の共同買収を発表するなど、同プログラムは順調に進捗している。

成長軌道を確認たるものとし、新たな顧客創造に挑戦

- ・ さて、迎えた新年は、「明治安田新発展プログラム」の2年目となり、昨年までの成長軌道を確認たるものとし、安定的成長を実現していくための非常に重要な年。
- ・ 中期経営計画の柱である「国内生命保険事業における安定的成長力の確保」、「成長分野への積極投資」、「リスク管理の高度化と資本・財務基盤の強化」に全役職員が総力を結集して取り組む所存。
- ・ 少子高齢化社会の進展に伴い、社会保障制度を補完する生命保険の役割は今後ますます重要になる。基幹チャネルの営業職員チャネルについては、営業職員の資質向上とご加入いただいているお客さまへのアフターサービスの高度化に加えて、ご加入いただく前のお客さまへのコンサルティング、いわばビフォアサービスの充実に取り組んでいく。具体的には、社会保障制度も含めた総合的なアドバイスを行ない、複数プランのなかからお客さまご自身が最適と思う商品を選んでいただく「提案力革新」を推進し、さらなるお客さま満足度向上を図り、営業職員の生産性向上を実現していく。
- ・ また、介護分野を死亡・年金・医療保障に次ぐ「第4の柱」と位置付け、現在、介護保障商品の開発を検討している。この新商品と介護ポータルサイトの機能拡充、そして営業職員の提案力革新により、新たな顧客創造に挑戦していく。
- ・ これからも生命保険の重要性を真摯にお伝えし、「お客さまにいつまでも変わらぬ安心」をお届けできるよう、全役職員が一丸となって不断の努力を続けていこう。